

手順書:循環器関連

9. 経皮的心肺補助装置の操作及び管理(1)(2)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(挿入部の状態、末梢冷感の有無、尿量等)及び血行動態(収縮期圧、肺動脈楔入圧(PCWP)、心係数(CI)、混合静脈血酸素飽和度(SvO₂)、中心静脈圧(CVP)等)及び検査結果(活性型凝固時間(ACT)等)が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、経皮的な心肺補助装置(PCPS)の操作及び管理を行う

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- ☐ PCPS装着中の患者
- ☐ PCPS離脱中の患者



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ バイタルサインが安定
- ☐ PCPSの駆動状況が安定



病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

担当医師に直接連絡

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

- ☐ 経皮的な心肺補助装置(PCPS)の操作及び管理
- ☐ PCPS 装着時および離脱時の PCPS 駆動状況の確認および患者の病状把握
 - ・十分なモニタリングと対応ができる環境下で行う
 - ・血圧、脈拍、心拍、心係数(CI)、心拍出量(CO)等の循環状態、血液希釈(Ht)、体液量等を評価し、回転数の変更を行う
 - ・SpO₂、動脈血液ガス分析の結果を評価し、酸素維持濃度と流量を変更する
 - ・活性凝固時間の結果を評価し、抗凝固剤の投与量を調整する



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ PCPSの流量、遠心ポンプ駆動状況、人工肺内の血栓の有無
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ 血圧、脈拍、心拍、心係数(CI)、心拍出量(CO)等の循環動態の変化
- ☐ 体液バランス
- ☐ 動脈血液ガス分析
- ☐ 溶血の有無、血液希釈(Ht)、活性凝固時間
- ☐ 送血管挿入箇所での出血・腫脹・発赤の有無
- ☐ 送血管挿入側の下肢虚血・腫脹の有無
- ☐ 脱血管挿入箇所での出血・腫脹・発赤の有無
- ☐ 脱血管挿入側の下肢虚血・腫脹の有無



<確認事項>

異常・緊急性あり

担当医師に直接連絡



【医療の安全を確保するために医師又は歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

- ☐ 担当医師に直接連絡する



【特定行為を行った後の医師又は歯科医師に対する報告の方法】

- ☐ 担当医師に直接連絡する
- ☐ 特定行為の実施を診療録に記載する